

ワクチン接種、順調に進む

はんの木だより

2021年7月

第82号

社会福祉法人美土里会

青森県上北郡七戸町寒水 70-17

電話 0176(62)2761

http://midorikai-gr.or.jp

発行人：盛田薫

特養・GH利用者接種完了

美土里会



一日も早く、今まで通りの日常を取り戻したい……。まさに、皆さんのそんな思いがかいま見えた日でした。五月十一日より順次、新型コロナウイルスワクチンの接種が始まったのです。

かねてより当法人・行政(七戸町)と、嘱託医療機関である公立七戸病院とワクチン接種について折衝を重ね、ようやく接種日を迎えることができました。当日は同院の小野院長先生が来荘。特養・グループホームのご利用者や職員の一部を対象に一人ずつ問診票を確認し状態確認。全員が接種可能とのことと、特養看護職員が手分けして対象者にワクチンを投与して行きました。

初日は接種を希望し身元引受人から同意を得られたご利用者と職員約四十名がワクチン接種。ご利用者の皆さんはとても落ち着かれておりスムーズに進行。最初に接種を受けた特養ご利用者の瀬川ハツエ様は「なんも痛くなかったよ、いがあった」と笑顔で話されていました。

一方、二十四日からは七戸病院で職員を対象にした集団接種も開始。一人ずつ問診を受けた後、七戸病院看護師からワクチン注射を受けました。ご利用者より職員が「痛いのかな...」「接種の後の副反応は大丈夫かな」と不安を



美土里荘内で利用者・職員に接種。職員は七病でも接種しました

小野先生が1人ずつ問診

ロにしていきました。いずれもワクチン接種後には医師の指示により十五分程度(アレルギーがあったり医師の指示があった者は三十分)は異常がないかの確認するため待機しました。

今回は特別養護老人ホーム美土里荘、並びに美土里荘グループホーム棟のご利用者が施設内でワクチンを接種しましたが、在宅サービスである短期入所(ショートステイ)や通所介護(デイサービス)などのご利用者は、市町村から届いた接種券をもとにご家族に予約をしていただき、指定の集団接種会場で行いました。

さて、新型コロナウイルスと言えば副作用・後遺症が話題になっていきます。美土里会では接種して数日間様子を見ましたが、一回目の接種の後には接種箇所周辺や腕の痛み、二回目は発熱やふるえ(悪寒)、身体のだるさ(倦怠感)、関節の痛みなどが確認された職員が複数名いました。その他、接種直後に咳が出続けたり、めまいを訴える職員も年代を問わず見られました。特に二回目の接種後は、接種当日の午後から翌日正午あたりに副反応の症状が発現することが多かったようです。しかし副反応があった場合でも一、二日で下がる者がほとんどでした。一方で「ちょっとだるいけれどいつも通りだよ」という職員もあり、一概に『皆に同じ副反応が起こる』とは言い切れないようです。



30分経過観察を要する方も



搬入は慎重に...

これがファイザー社製のワクチンだ!



ご利用者は注意深く観察しましたが、痛みの訴えや発熱があった方はほとんどありませんでした。しかし、特に二回目の接種翌日から発熱などの症状が強く出る者もいたため、二回目の接種翌日は仕事を休んだ方が多い場合もあると思われます。ワクチンを打ったから万全...というわけではありませんが、少しずつ良い方向に向かって行っているのは事実。これからも感染症対策に気をつけながらサービスを提供して参ります。皆様のご協力、よろしく願います。

グループホーム棟

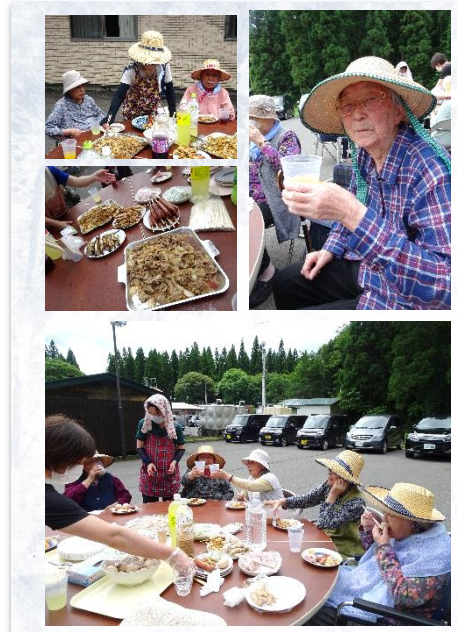


四月十五日、十和田市へお花見ドライブに出掛けて来ました。車窓の向こうは満開の桜♪しばし停車で鑑賞、車内にて記念撮影して頂きました。

四月二十一日に夜間想定避難訓練を実施しました。火元は南町の特室からで本番さながらの緊迫感で誘導に努めました。



七月五日、今年初のバーベキュー。定番の焼き鳥、フランクフルトに焼き海鮮やバラ焼き、おにぎりや焼きたてを楽しまれました。厳しい日差しの中でこれから夏本番にも負けずに過ごしていきたいです。



祝・健康長寿

デイサービスご利用者
甲田ふじの様
茶寿!!



まさ前に前代未聞? デイサービスのご利用者、甲田ふじの様がこのたび茶寿(ちやじゅ)を迎えられました。「えっ、茶寿って?」と思われる方も多いかも知れませんが、確かに聞き慣れないですね。茶寿の『茶』を分解してみると『十が二つ、その下に八十八』と読めるそうです。つまり甲田様は**百八歳**—簡単に到達できるお年ではありません。

百八年前の大正二年(一九一三年)と言えば、東北帝国大学で歴史上初めて女性が大学入学を許可され、日本政府が中華民国を承認し、江戸幕府最後の将軍だった徳川慶喜が亡くなり、森永ミルクキヤラメルが発売開始となった年。まさに歴史の教科書に載るような年にお生まれになり、大正・昭和・平成・令和という時代を過ごされているのは驚くほかにありません。

デイサービスでは短い距離なら自力で歩き、しっかりとごはんを食べ、レクリエーションにも参加。時には他の利用者様より良い成績で一位にもなるスーパードイデです。司会の職員も「声が小さくて聞こえないよ!」とお叱りを受けることもあるほど。ご自宅では四世代の大家族に囲まれ、ひ孫様に「大人の幼稚園に行ってくるよ。」と話されるとい、ユーモアのある甲田様。これからお元気で長生きし、青森一、いや日本一の長寿となりますよう陰ながらサポートさせていただきます。おめでとうございます!



五月十八日、良く晴れた日の午前中。デイサービスのご利用者の中で「なんだありや」「シカだ!」という声。視線の先の草地にはなんとカモシカが!新緑の中、じつとこちらを眺めている姿は神々しささえ感じました。これからも美土里会の森の守り神として、たまくに皆の前に姿を見せて欲しいものです。



誕生月のお祝い



特別養護老人ホーム美土里荘

特養では毎月、その月に誕生日を迎えられるご利用者の誕生会を開催しています。なかなか大勢が集まってお祝いや大々的な催しは難しいですが、ちよっとしたプレゼントを差し上げたりケーキを提供したりしています。職員や他のご利用者からお祝いの声をかけられると皆さんとても嬉しそうな表情をされます!



まだまだコロナ禍が続く外出が難しい今日このごろ。せめてこの思いで、天気の良い日は屋外散策や日なたぼっこをしたり、車から降りずにドライブに出かけたりしています。



屋外散策では、敷地内で育っているタラノメを採って「ホラ見ろ!」と得意げに差し出したり、ベンチに座って気の合う仲間同士でおしゃべりをして楽しまれています。

降りて露店で買い物したり、木の下で写真を撮ったり...といったことは出来ませんが、良い気分転換になったようでした。タミングを見て、また行きたいと思えます。



七月十五日、ほどよく晴れたこの日、屋外でバーベキューをしました!目の前で焼き上がる焼き鳥やバラ焼き、焼き魚に焼きそば。皆さん「何だ」「旨そうだな」と食べる前からソワソワ。準備ができたならノンアルコールビールで乾杯。焼き上がったものからどんどん皆さんのお腹の中に入って行きました(笑)。屋外での食事は最高でした!



職員コラム

特別養護老人ホーム美土里荘 介護職員

かねみ あすか
金見 明華

美土里荘に勤めて丸六年。今年が七年目になります。趣味はゲーム、絵を描くこと、読書です。家で飼っている猫がとても可愛くてたまりません。普段はあまり家から出ることがなく、インドア派ど真ん中です。

七戸高校の介護実習で来てから「美土里荘が良いな」と思っ就職を希望しました。小学校の頃から介護の仕事に興味がありこの道を選びましたが、最初は覚えることだらけで頭がパンクしそうでした。時には「やっていけないかな...」と不安になることもありましたが、そうこうしているうちに六年も勤めることができたのは、やっぱり性に合っているんだと思います。

これからも、ご利用者の笑顔と「ありがとう」を聞くために一生懸命頑張っていきたいと思えます!



特別養護老人ホーム美土里荘 介護職員

さとう ひると
佐藤 寛翔



こんにちには!佐藤です!砂糖じゃなくて佐藤です!塩ではありません!先日、約十年ぶりにギターを始めました。高校に入ってから寮生活になったのをキッカケに、その後ずっと触れる事無く今の今まで生きてきました。その結果このザマです。そんなこんなで現在新しくギターを買い、シンセサイザー含め時間をみつければ練習しております。最近、DJ機材が欲しくて悶々としております。お金ください。

年を取るにつれてやりたいことが多くなってきて、それと同時に時間が足りなくなってきたりと実感しています。なので、一日一日を大切に生きていこうと思っています(笑)。そんな感じで、ゆるく生きてます。

編集後記

二〇二〇年の予定だった東京オリンピックピックがようやく開催され、毎日メダル獲得のニュースが聞かれて嬉しい一方、コロナ感染者も増え続けているのが心配な毎日です。オリンピックでは「私の子供と同年の子が金メダルを獲得し、すごい時代が来たなあ、無垢な心が真の強さに繋がるんだな」と感動を貰いました。私達もこれから頑張らなきゃいけないと日々思います。コロナにも負けない強さを持つてご利用者と一緒に頑張っていきたいと思います。(洋)